

平成29年度  
コンピュータサービス技能評価試験  
受験案内

ワープロ部門  
表計算部門



申込みは職業能力開発協会へ！  
初心者～指導者まで！  
公的資格試験でスキルUP！

情報サイト

<http://www.javada.or.jp> より おはいきださい  
○試験の申込み・概要・練習問題の掲示・参考図書のお知らせ  
○練習問題のダウンロード

※ 群馬県職業能力開発協会を受付します。  
申請書ご希望の方は、電話・FAX・メールで事務局までご連絡下さい。  
申請書をお手元に送付いたします。

群馬県職業能力開発協会

<http://WWW2.gunmanet.ne.jp/g-vada/>  
〒372-0801 伊勢崎市宮子町1211-1  
TEL 0270-23-7761・FAX 0270-21-0568  
E-mail t8makisi@po.wind.ne.jp

## ● 試験日程

受付期間(※)	試験日	合格発表
平成29年8月14日(月)～9月1日(金)	平成29年9月16日(土)	平成29年10月20日(金)

## ● 受験資格

受験資格には特に制限はありませんので、どなたでも受験することができます。

## ● 受験手数料

等級	部門名		
	ワープロ	表計算	データベース
1級	7,820円	7,820円	7,820円
2級	6,580円	6,580円	6,580円
3級	5,250円	5,250円	5,250円

## ● ソフト

原則として下記のソフトで受験していただきます。パソコン・ソフトは持ち込みを原則とします。

部門名	ソフト
ワープロ部門	WORD2010
表計算部門	EXCEL2010
データベース部門	ACCESS2010

## ● 試験会場

会場は当協会では決めさせていただきます。(予定:伊勢崎市)



### オン・デマンド方式試験

事業所・学校等で受験希望者が10名以上まとまった場合、5月から3月までの自由な日に試験を実施するオン・デマンド方式が可能です。

原則として、①受験会場(会議室・教室等)を提供できること。②パソコンを受験者に準備できること(持ち込み可能)が条件となります。

日時は自由に設定できます。(土・日、就業時間後、終業時間後等)

## ● 受験申込み注意事項

1 受験申請を申し込まれる方は、事務局までご連絡下さい。

申請書と手数料振込用紙をお送りいたします。受験手数料は郵便局へ振り込みいただきます。受領書(領収書)は大切に保管しておいて下さい。手数料を振込後、受験申請書を受付締切日までに協会宛に郵送(締切当日必着)もしくは直接事務局に提出して下さい。

手数料の入金が確認できない場合は受験できません。

2 受験申請書には、裏面の【記入上の注意】をよく読み、ボールペン等を使って楷書で正確に記入して下さい。

なお、事務局へ申請する場合、申請書には、写真を1枚(4cm×3cm)を添付して下さい。

3 申請手続き処理後に、受験者へ一斉に受験票を郵送します。

4 申込み手続き後は、いかなる理由があっても受験手数料の返還はいたしません。

# 試験の内容・試験時間

(詳しい内容については、中央職業能力開発協会ホームページをご覧ください。) <http://www.javada.or.jp/>

## ● ワープロ部門 (Word)

試験は、実際にワープロを操作して文書作成等をする実技試験と、1級のみワープロの知識を問う筆記試験を行います。

等級		試験の内容	試験時間
1級	実技	レイアウト図に基づき、表作成・オブジェクト作成・編集を含め、入力文字数約1100字の文書を作成する。与えられたデータをもとに、オブジェクトの作成、編集、校正を行う。作成した文書に、表紙・目次・ハイパーリンクの設定を含め、文書ファイルに編集する。	60分
	筆記	4肢択一により、漢字、ビジネス文書、ハード・ソフトウェア、ネットワークと情報活用等の知識について問う。	20分
2級	実技	約500字の単純文字入力を行う。入力文字数約550字、表作成、編集を含む文書を作成する。与えられたデータをもとに、オブジェクトの作成、段組みを含む編集、校正を行う。	60分
3級	実技	約350字の単純文字入力を行う。入力文字数約300字、表作成、編集を含むビジネス文書を作成する。与えられたデータ(表を含むビジネス文書)をもとに、編集、校正を行う。	50分

## ● 表計算部門 (Excel)

試験は、実際に表計算ソフトを使って、データ集計解析処理を行う実技試験と、1級のみ表計算ソフトの機能、ハードウェア、ソフトウェア、ネットワークと情報活用等に関する知識を問う筆記試験を行います。

等級		試験の内容	試験時間
1級	実技	与えられた「テーマの想定要件・データ」をもとに、ワークシート設定、画像貼付け、フォーム設定、入力規則設定、条件付き書式設定、マクロ設定を行い、検索フォームを完成する。与えられた「テーマの想定要件・データ」をもとに、設定・変換、集計を行い、2種類のグラフを作成し、2種類の形式でデータを保存する。	90分
	筆記	4肢択一により、表計算ソフトの機能、ハード・ソフトウェア、ネットワークと情報活用等の知識について問う。	20分
2級	実技	与えられたデータをもとに、数式修正、装飾、書式の貼付け、条件付き書式の設定を行う。名前定義、表示設定、関数設定、抽出、集計を行う。複数範囲選択により、グラフを作成する。	60分
3級	実技	入力したデータに基づき、関数式・計算式を設定し、装飾を施した上で表を完成する。与えられたデータをもとに、表の装飾、編集を行う。与えられたデータをもとに、1種類のグラフを作成する。	45分

## ● データベース部門 (Access)

試験は、実際にデータベースソフトを使って、データ処理を行う実技試験と、1級のみデータベースソフトの機能等に関する知識を問う筆記試験を行います。

等級		試験の内容	試験時間
1級	実技	与えられたデータをもとに4種類のテーブルを作成し、必要なリレーション・参照整合を設定した後、入力フォームの作成と、基本テーブルをもとにした集計・抽出クエリ、照会フォーム、帳票の作成とともに、メニューフォームの作成を行う。	90分
	筆記	4肢択一により、データベースの導入と分析、テーブルの作成、リレーションシップの設定、SQLプログラミング、データベースの運用管理等の知識について問う。	20分
2級	実技	3種類のテーブルを作成し、必要なリレーション・参照整合を設定した後、テーブル自体へのデータ入力と、作成した入力フォームからのデータ入力により、基本テーブルを作成し、それをもとに、指定のアクションクエリ、抽出クエリ、帳票の作成を行う。	90分
3級	実技	2種類のテーブルを作成し、必要なリレーションを設定した後、テーブル自体へのデータ入力と、作成した入力フォームからのデータ入力により、基本テーブルを作成し、それをもとに、指定の抽出クエリ、集計・抽出クエリ、帳票の作成を行う。	60分

# コンピュータサービス技能評価試験とは

## どんな試験？

本試験は、コンピュータを活用した各種のサービス(データ処理・情報処理)を行う方の能力を評価する試験です。

これにより、技能習得意欲を増進させるとともに、社会一般の評価を高め、この業務に従事する人々の社会的・経済的地位の向上を図ることを目的としています。試験は、毎年全国で約10万人が受験する試験であり、職業能力開発促進法に基づいて設立された中央職業能力開発協会と群馬県職業能力開発協会が共同で実施するもので、パソコン操作に関する能力や技能が一定の水準に達しているかどうかの評価を行い、合格者にはそれぞれ部門ごとに「技士」の称号が与えられます。

## メリットは？

企業からの信用を保証し、その分野におけるスペシャリストであることが公的に証明されます。社会の高度化・複雑化にともない、企業でもその職務が専門化・多様化し、その進行の度合いが深まってきている今、あなたの存在を一段とアピールするために、あなたの磨いた知識やスキルを十分に発揮し、確かなステップアップを図ってはいかがですか。



## 試験問題集のご案内

○コンピュータサービス技能評価試験練習問題集(中央職業能力開発協会 編集・発行)

- ・ ワード部門(Word/Windows編)練習問題集(A4版)
- ・ 表計算部門(Excel/Windows編)練習問題集(A4版)
- ・ データベース部門(Access/Windows編)練習問題集(A4版)

お申し込みは→ホームページアドレス <http://www.javada.or.jp/>

○コンピュータサービス技能評価試験練習問題集(九州文化出版発行)

お申し込みは→ホームページアドレス <http://www.e-hint.ne.jp/>

※当協会に見本がありますが、ご購入は直接発行元のホームページでお申し込み下さい。

詳しいことは群馬県職業能力開発協会までお問い合わせください。

## 〈 群馬県職業能力開発協会 案内図 〉

